

えちごかわぐち物語2000秋まつり

11月3日～5日の3日間、盛大に開催された今年の秋まつり。大当たり抽選会や餅つきなどが行われた5日のイベント広場はたくさんの人出で賑わい、収穫の秋、芸術の秋、川口の秋を満喫しました。



「合併問題は避けて通れないとしても、合併は不可避の問題ではない」。地方分権推進委員会専門委員で、今年東大を退官し現在千葉大教授である大森瀧氏はそのように言っておられる。つまり、「合併したらよいがどうか、自分達の町や村の将来のことを充分話し合ってもらいたい。その結果合併についての結論を出すことをせひやっていたらいい。従って、合併は必ずしなければならぬ」という問題ではありませぬ。しかしながら一般的風潮として、合併はしなければならぬということであるとか、始めに合併ありきと言った論に偏しているように思う。合併問題として充分議論を尽くす前に、結論としての合併推進論が横行しているのではないかと。私は、前回は「単なる合併は、市町村のリストアップに過ぎない」と申し上げました。そこでの「単なる合併」とは、住民が充分議論を尽くす過

町長室から ③

程の問題もさることながら、何らビジョンのない、また持ち得ない合併の意であり、国の逼迫した財政を地方が肩代わりするような合併は断じて避けなければならぬのです。また大森氏は「二十一世紀は過疎地域である中山間地農山村の時代が必ず来る」と言っています。都市は減りても農村は減りません。米価が低落傾向にあり、耕作者の高齢化や後継者など、農山村農業を取り巻く状況は、最悪のパターンを示していると思われまふ。このように先行き不透明な中において、私達はなんとしても誇るべき郷土として、これを後世に残していかなければならないと思っております。恐らくこれからの四半世紀をどのように凌ぎ切るか、中山間地農山村の存亡をかけた大きな国家的課題でもあるのです。

川口の山野草 ④

ヤブツバキ (ツバキ科)

わが家の片山椿まこと汝
わが手触れなな土に落ちもかも

物部広足 万葉集 卷20-144-18

(わが家の門の一方の山椿よ。ああ椿のように清らかなお前は、わたしの手が触れないのに土に



落ちてしまおうのか……)の意。

この歌は、大化の改新後に制度化された兵役に、防人として、武蔵国に恋しい人を残して九州北辺の警備に赴く武人の詠んだものですが、歌のなかの片山椿の「片」は「片割れ」を意味し、恋しい人と別れて単身赴任をして行く男の「無念」と不安」が感じられます。

ヤブツバキの開花期は二～四月、雪深い新潟では三～五月に多く、十一月頃にも咲くことがあります。

花は赤色で径は5～6cm、枝先に一個ずつつけることは雪椿と同じですが筒状鐘形で水平に開くことはありません。がく片は緑色で五個、瓦状に重なり、花弁は五個で基部はつき合い、雄しべは多く花系は白色です。

(写真・文 木沢 鈴木良治さん)

あとがき

最近、人間を思わせるなめらかな足歩行にパラパラまで踊ってしまうロボットが話題になっています。地球の約400km上空では長期滞在が可能な宇宙ステーションの建設が進み、2001年とはいかないまでも、宇宙の旅が現実味を帯びてきました。今からだとハネムーンは無理としてフルムーンで月旅行なんてことも夢ではないでしょう。21世紀を目前に海外旅行は未経験、旦那様候補も…の私には難しいかな。21世紀はもうすぐそこまでやってきています。

収穫、芸術、文化の秋

えちごかわぐち物語

川口町 秋の祭典

2000 秋まつり



収穫、芸術、文化の秋、川口町秋の祭典「えちごかわぐち物語2000秋まつり」が11月3日～5日、盛大に行われました。3日に行われた芸能発表会では、町内の皆さんによる歌、踊り、ジャズダンス、劇など日頃の成果が披露されました。5日には、農産物の販売や大豊作船盛りパレードや値段当て、抽選会などが行われ、賑わいました。

また、商工及び農業の各分野で振興に務めた企業、農家の表彰も合わせて行われました。



おもな被表彰者

(敬称略)

農業振興

西川口水稲育苗組合

故 小林龍一 (八郎場)

商工振興

信越工業(株)

コシヒカリ品質向上共進会

▼最優秀賞Ⅱ山田武夫(中新田)
▼優秀賞Ⅱ大淵陽一(前原)、覚張一也(下村)、関則昭(岩出原)
▼優良賞Ⅱ涌井清嗣(前原)、丸山進(長坂)、星野洋子(新敷)、真島松栄(相川口)、岡村隆好(岩出原)

菊花展

▼最優秀町長賞Ⅱ水落佐一郎(大形)
▼議会議長賞Ⅱ覚張俊子(下村)
▼農協組合長賞Ⅱ佐藤健(川口2)
▼教育長賞Ⅱ桜井ナミエ(上河原)
▼郵便局長賞Ⅱ星野洋子(新敷)
▼JR駅長賞Ⅱ富田功(川口1)
▼レストランたかべん賞Ⅱ目黒富夫(川口4)

平成12年度

町政功労者を表彰

11月3日、「えちごかわぐち物語2000秋まつり」において、町政功労者表彰が行われました。

この表彰は、長年町の政治、経済、文化、福祉などの各分野で町の発展に大きく貢献された方、他の模範となる方、並びに町行政に積極的に協力された個人、団体を表彰するもので、今年は次の方が表彰されました。

社会福祉に貢献

綱 久松さん
(川口2 82歳)



昭和42年から長年にわたり保育行政に深い理解を示され、町内の全保育園にたくさんのクリスマスプレゼントを寄付され、子どもたちに夢と喜びを与えるなど、児童福祉の増進に貢献されました。

消防防災に貢献

関 眞佐道さん
(牛ヶ島 50歳)



昭和46年川口町消防団に入団以来、現在まで29年間の長きにわたり住民の生命財産を守り、民生の安定に貢献されました。

また、現在は副団長として団長を補佐し、防火、予防の啓発はもとより、団員の指導に積極的に活動されておられます。

地域社会に貢献

川口町スキー協会を表彰
町政功労者表彰とあわせて、地域社会貢献者表彰も行われ、川口町スキー協会(山吉朝彦会長)が表彰されました。

この表彰は、明るく住みよい地域社会づくりに貢献された個人、団体を表彰するもので、同スキー協会は、昭和46年に発足以来、活発な活動を展開し、特にジュニアクラブの育成に力を入れられ、全国中学校スキー大会、全国高校スキー大会、冬季国民体育大会に選手を出場させるなど、スキーを通じスポーツの振興と青少年の健全育成に大きく貢献され、これらの功績が評価されました。



農業の大改革に向けて

「農業政策委員会」・「農業経営組織研究会」が設置されました

当町の農業の現状は、

二種兼業農家が9割を占める後継者のいない農家の増加
自己消費型農家の増加

など、さまざまな構造的問題を抱えています。
最近よく耳にするのは、

「公的な組織がまかってくれることも」

「農業機械を買うときに、助成制度があるといいけどもな」

「農業は趣味としてやっていくが余っている作物を買ってくれるといいな」

あなたも、このようなことを思っていますか。

「先祖代々の田だから自分がやれるつちはやるが、子どもは興味がなくやらないだろー」
「今使っている機械がだめになったら、新しいのを買ってまで米づくりは続けられね」

この状態を放置すると農業離れと農地の耕作放棄地を生み、町の経済・生活基盤、財政基盤、更には自治基盤をも大きく揺るがすものと思われ

「米の価格が下がってきて、水利費などの経費がだんだん重くなってきた。誰かやってくれる人いねるか」
「親父がやっていることも、とても勤めが忙しくて俺の代にはやれないな」

このような多くの課題を踏まえ、川口町の新しい農業のシステムづくりの研究及び施策の方向を立案するため、川口町農業政策委員会及び農業経営組織研究会を設置しました。

農業政策委員会

町農業の指針を検討します。

①二種兼業農家をはじめとする農地の有効利用

農業経営組織研究会

農業政策委員会の研究機関として、具体的な内容について町民による検討研究を行います。

②生産物を換金するためのシステムの確立

③安全な農産物の生産と町内循環ルートの確立

④農地利用を図るための組織の確立

⑤安定した経営基盤の確立

構成員

専業農家、大規模農家、2種兼業農家、小規模農家、女性農業者及び消費者の計20名。

検討課題

①農家意向アンケートの分析
②各地区座談会における意向集約
③農業経営組織の研究検討

※農業についてのご意見をお寄せください。

農家アンケート報告会及び集落座談会の開催

農業経営者及び担い手・後継者、農地所有者を対象に10月に農業アンケートを実施しました。

回収結果は、	
配布数	1,124
回収数(率)	1,048 (93.2%)
有効回答数(率)	878 (83.8%)

となりました。ご協力ありがとうございました。

このアンケート結果をもとに、川口町の農業の実態と今後の問題点について皆さんのご意見をお聞かせいただきたく、大字単位でアンケート結果報告会及び集落座談会を開催します。

なお、今回の集落座談会は農家以外の方にも消費者として、農業を支える地域住民として多くの方に参加していただきたいと考えています。

集落座談会日程

日	時間	会場	対象地区
12/14(木)	19:30~	和南津集落センター	和南津
	19:30~	西川口集落センター	西川口
12/15(金)	19:30~	田麦山集落センター	田麦山
	19:30~	相川ふれあい交流館	相川、荒谷、武道窪
12/16(土)	13:00~	牛ヶ島集落センター	牛ヶ島、貝之沢
	13:00~	中山集落センター	中山
	16:00~	木沢集落センター	木沢、峠
	16:00~	生涯学習センター	川口

問い合わせ 農林課 ☎89-3113

降雪期を迎えました

除雪作業にご協力を！

毎年、雪による災害が多発しています。今年もみんなで協力し合い、無事故で雪と付き合ひましょう。



除雪車の出動体制

降雪量がおおむね10cm以上の場合に道路の除雪作業を行います。効率的に進めるため次の区分で除雪を行い、冬期間の交通確保を図ります。

〈車道除雪〉

第1種除雪路線：早朝、日中とも常時一車線の幅員の交通を確保する路線
第2種除雪路線：大雪の場合には早朝除雪を中止したり、一時的に交通不能になり、一時的に交通不能になってもやむを得ない路線

春先除雪路線：降雪期を過ぎた春先に除雪する路線
〈歩道除雪〉
一部について、通勤通学時間帯までに除雪を行う。

除雪作業をスムーズに行うために、次のことにご協力を

①除雪作業中に通行する時は作業員の指示に従う。

雪に伴う事故防止に万全を

屋根雪や周りの

除雪をするときは

①雪下ろしによる転落事故を防ぐため、かんじきを履くなど滑らない処置をとる。

②屋根雪落下による事故防止のため、軒下での除雪作業には特に注意をする。

③家庭用小型除雪車を使用する場合は、取扱説明書に従い、自損事故に注意する。

水道は…

冬期は凍結や積雪による漏水事故が多くなります。次のことに気が付いたら企業課までご連絡ください。

- ・水を使わないのに、蛇口などから水が流れる音がする。
- ・いつもより水圧が低い。
- ・水を使わないのに、水道メーターが回っている。
- ・家の周りで水気のないところから水が出ている。

ガスは…

ガスメーター付近の雪下ろしや降雪に注意を！

- ・ガスメーターに雪が強く当たると、振動でガスが止まる場合があります。
- ・ガスメーターは、立上り管の保護及び雪に埋もれないように除雪をする。
- ・風呂や給湯器等の排気や吸気の点検を！
- ・排気筒の詰まり、はずれ又は雪に埋もれていないか。
- ・吸気口は雪などでふさがっていないか。

水道・ガスに関する

問い合わせは
企業課 ☎89-44417

除雪に関するお問い合わせは

- 町道 役場 建設課 ☎89-3114
防雪サブセンター ☎89-3711
- 県道 小千谷土木事務所(維持管理課) ☎83-0855
川口除雪ステーション ☎89-2052
- 国道 建設省小出維持出張所 ☎02579-2-0839
堀之内除雪ステーション ☎02579-4-4192



毎年、さまざまなテーマで川口町を学習する教養講座「ふるさと川口塾」が、全6回の日程を修了しました。

今年のテーマは「食」。豊かな自然がいっぱいの川口町は「食」の宝庫でもあります。春の山菜から秋のきのこ、魚野川の鮎など、旬の食材を使ったさまざまな学習が行なわれました。

町の「食」を訪ねて

かわぐち学びの里大学

「ふるさと川口塾」修了!

第1回(5月14日)

「山菜アイデア料理を作る」

木沢の山々を会場に地元の鈴木良治さん、星野幸一さんを講師にお迎えし、山菜を採集しました。

お昼には採れたての食材を自分たちで料理して、んぶら、おひたし、味噌汁と山菜たっぷりのごちそうに舌鼓を打ちました。

第2回(6月20日)

「郷土料理を考える」

新潟県の郷土料理とは何か、川口町の郷土料理をどう残していくかをテーマに地域おこしマイスターの堀優子さんをお迎えし、講演会を行いました。

米や大豆などを使った郷土料理の県内の傾向や地域性を詳しく説明していただき、郷土料理をどのように後世に残していくかを学習しました。

第3回(8月27日)

「食からみた雪の活用法」

キャンパス川口にある雪室をどのように利用したらよいか、先進地を見学しながら学習しました。

町の雪室を見学後、守門村の玉川酒造と雪室フーズの施設を見学し、係員から説明を受けました。雪室の中は8月でも室温0度。町の雪室には日本酒が貯蔵されていますが、参加者からは漬物、米などを入れたらどうかなどと活発な意見が出ていました。



第4回(9月24日)

「川の恵みを味わおう」

川口ヤナを会場に、鮎の塩焼きの調理法を学びました。

今年は鮎が不漁で地鮎は使えませんでした。ヤナの職員の方に串の刺し方から焼き方まで丁寧に教えていただきました。

第5回(10月15日)

「これで安心!きのこ判別法」

環境カウンセラーの小日向孝さんを講師に、きのこの種類と判別法を学びました。

山の相川で採集した後、きのこの種類や判別法の説明を受けました。今年はきのこによる食中毒が多かったせいかな参加者は熱心に聞き取っていました。



第6回(11月26日)

「そばのつくりこ挑戦」

木沢の阿部義夫さん、小林三千三さんを講師にお迎えし、今年採れた新そばを使ってそば作りに挑戦。そば屋さんのように同じ太さには揃いませんでしたが、それぞれ自作のそばに満足していました。



今年度は体験型学習が中心で学ぶ楽しさと食べる楽しさが重なり、参加者の皆さんは楽しく学んでいました。

生涯学習推進協議会では現在平成13年度の学びの里大学を企画中です。「ふるさと川口塾」は来年もテーマを変えて行なわれますので、参加してみたいかがでしょうか。

表1 要介護認定者数(8月末日現在) (単位:人)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1号被保険者	20	50	37	13	23	18	161
65~74歳	3	7	8	2	1	3	24
75歳~	17	43	29	11	22	15	137
2号被保険者(40~64歳)	0	0	1	0	0	0	1
総数	20	50	38	13	23	18	162

介護保険の利用状況をお知らせします

介護保険制度が施行されてから半年以上が過ぎました。今回は、住民の皆さんがどの程度、介護保険を利用しているかをお知らせします。

要介護認定を受けている方

8月末現在で要介護認定を受けている方は表1のとおりです。月により多少変動はありますが、徐々に増えているのが現状です。(4月末日の時点では154名)

サービスを利用している方

8月に介護(支援)サービスを利用した方は在宅者が94名、施設入所者が38名、合計132名となっています。

なお、利用されていない方の最も多い理由は「入院等によるサービス利用の一時中断」となっています。

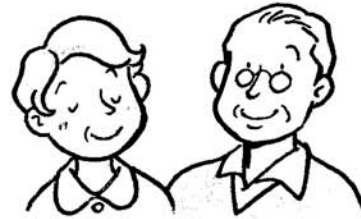
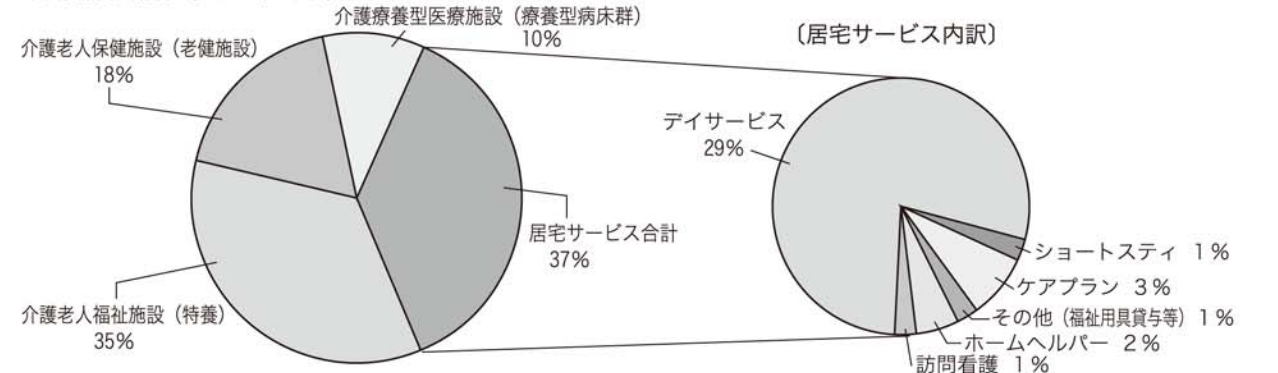


表2 介護給付状況(8月利用分)

サービス名	給付額(単位:万円)	利用人数(単位:人)
訪問介護(ホームヘルプサービス)	38	17
訪問看護	15	6
通所介護(デイサービス)	584	76
ショートステイ	29	11
居宅介護支援	69	94
その他(福祉用具貸与等)	11	13
居宅サービス計	746	延 217
介護老人福祉施設(特養)	709	22
介護老人保健施設(老健施設)	371	12
介護療養型医療施設(療養型病床群)	192	5
施設サービス計	1,272	延 39
合計	2,018	延 256

注1) 人数は、各サービス毎の利用人数ですので、合計は実サービス利用者数より多くなります。
 注2) 給付額は、最終確定額ではありません。
 注3) 給付額には、利用者負担分は含まれていません。

図1 介護保険給付状況(8月利用分)



「社会保険功労者」 新潟社会保険事務局長表彰

新潟社会保険事務局では、国民年金事業の推進・発展のため長年にわたり尽力された国民年金委員に対し、その功績を称え労苦に報いることを目的に、国民年金委員の表彰を実施しています。

今回、川口町国民年金委員の山吉キヨさん（川口1）が14年間にわたる国民年金委員活動の功績により、11月16日に役場において表彰を受けられました。



迫真の演技に魅了 素人芝居「おらがふる里」

上演



11月19日、生涯学習センターにおいて、東頸城の大島村、浦川原村、安塚町の有志による住民パワーを結集した素人芝居「大浦安」による「おらがふる里」が上演されました。

過疎や高齢化など地域が抱える課題をテーマに、Uターンした夫婦が好奇の視線に耐えながら地域の魅力づくりに力強く立ち上がる姿を描き、地域の明日を考えさせてくれました。
地元の言葉をふんだんに盛り込み、また川口町消防団も特別出演で熱演。観衆から多くの拍手が送られました。

自分らしく輝きつづけるために… 「広瀬久美子さん」を迎えて

11月4日、交流体験館「杜のかたらい」において、元NHKアナウンサー広瀬久美子さんをお迎えし、「男女共同参画社会」をテーマに文化講演会が開催されました。

長年NHKアナウンサーとして男性社会の中で勤務された経験に基づき、ユーモアを交えながら、社会・地域・家庭における女性と男性のあり方についての講演に、入場者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

講演に対し、たくさんの方からアンケートのご協力をいただき、その中からいくつかをご紹介します。

・家庭における男性の自立とお互いの思いやりの大切さ、「…だから」という枠にとらわれないことなど、私たちの身近な問題を楽しくわかりやすく説明していただいて、大変良かった。

・「男女共同参画の基本は台所から」というお話に、自分の家庭を振り返ってみて考え



させられた。
・家庭における教育の大切さを改めて思った。
・もう少し男性の方からも参加してほしい。

この講演を通して自分自身の生き方や家庭・職場を考えるよい機会になったようでした。

各種大会結果

- 第20回川口親善駅伝競走大会
(11月12日 峠・木沢・中山)
- 一般男子の部 (13チーム)
 - 1位 上郷EDC3
 - 2位 ロードスター
 - 一般女子の部 (4チーム)
 - 1位 川口中学校
 - 2位 上郷EDC4
 - 小学男子の部 (21チーム)
 - 1位 東小走り屋一番星
 - 2位 つなん
 - 小学女子の部 (12チーム)
 - 1位 つなん
 - 2位 東小走り屋ホワイトベリ
- 親子ふれあいパドミントン大会
(11月19日)
- 小学1・2年生
 - 1位 内山拓郎・洋一
 - 2位 大淵 晃・東子
 - 3位 桜井芽衣・栄子
 - 小学3・4年生
 - 1位 大野杏奈・美奈子
 - 2位 大淵芳森・憲子
 - 3位 星野雄太・忠明
 - 小学5・6年生
 - 1位 大淵智道・憲子
 - 2位 中林 駿・直也
 - 3位 間野恵介・美智子
 - 特別賞 真島美香・通子

中学生の税に関する標語・作文 入賞した中学生を表彰

小千谷税務署及び管内の市町村では、租税教育の一環として税の仕組みや使われ方の理解を深めてもらうため、毎年中学生を対象に税に関する標語と作文の募集を行っています。今年は、標語が174点、作文が64点もの多数の応募がありました。



「中学生の税に関する標語・作文」入賞作品

- 標語表彰 ★小千谷税務署長賞
- 3年 阿部 郁子さん
『助け合う みんなの心が 税金に』
 - 2年 角張 裕子さん
『税金で 人に優しい 国づくり』
- ★川口町長賞
- 3年 江島 直美さん
『税金で 未来と幸せ きりひろく』
 - 3年 堀沢麻友美さん
『税金は 豊かな社会の うしろだて』
 - 2年 間野 緑さん
『消費税 ふるさと支える 大きな手』
 - 1年 井浦 望美さん
『つくろよう 小さな税から 良い町を』
- ★北魚沼郡租税教育推進協議会長賞
- 2年 星野瑠枝子さん
『税金で 支える福祉の 豊かな社会』
- 作文表彰 ★小千谷地区納税貯蓄組合連合会長賞 優秀
- 3年 渡部 陽子さん
『私ができる豊かな国づくり』

今、改めて意義を認識 「国民年金」



我が国の国民年金などの公的年金制度は昭和36年の国民皆年金の達成以来、数次にわたる改正により制度の充実が図られ、今日では、おおよそ加入者数7,000万人、受給権者数2,600万人、年金総額は34兆円にも達しています。

また、平均的な高齢者世帯所得の中で、公的年金の占める比率は6割以上であり、公的年金だけが収入の全てという世帯は、高齢者世帯の半数に上っています。

このように、公的年金制度は高齢者の所得保障の主要な柱として、国民年金に欠かすことのできない極めて重要な役割を担っていると言えます。国民年金などの公的年金は、国が責任を持って運営している制度であり、どんなに長生きしても一生年金を受給できる終身年金です。そし

て、その年金額は、物価が上昇しても実質的な価格が維持されるように毎年の物価の変動に応じて改められ、生活に必要な費用を確実に保証しています。

貯蓄や私的な保険では、これらを確実に保証できる制度はありません。公的年金は、所得不安のない安心した老後生活を支える役割を果たしているのです。

国民年金などの公的年金が、このように生涯にわたる確実な給付を可能にしているのは、現役世代の全員が必ず年金制度に加入することによって、安定的な保険集団を構成し、高齢世代の年金給付に必要な財源を現役世代が支えるという世代間扶養の仕組みをとっているからです。

また、人口の高齢化に対応し、公平・公正な制度を確立する観点から、少なくとも5年ごとに制度の見直しを行います。

問い合わせ

町民課国民年金係
☎89-4418

年末の 交通事故防止運動

12月11日～31日

- 高齢者の事故防止
- ・外出するときは、明るく目立つ服装と反射材を身につけましょう。
 - ・必ず横断歩道を横断し、安全確認を確実にしましょう。
- 夜間における交通事故防止
- ・夕暮れ時にはライトを早めに点灯し、常に周囲の安全確認に注意を払いましょう。
- 飲酒運転の追放
- ・「少ししか飲んでいないから大丈夫」という甘い考えは捨てて、「飲んだら乗らない」を徹底しましょう。

年の瀬は ゆとりと笑顔で 安全運転



みんなの広場

サークル紹介 ㉙



新しくサッカーチームが発足！ 〈川口Aチーム〉

川口Aチームは、今年の10月に発足したばかりのサッカーチームです。まだまだ人数が集まらず、細々とやっていますが、それなりに楽しくやっています。
サッカーに興味のある方は、男女問わず、また友人、知人に声をかけ、一度来てみてください。

日時 毎週火・金曜日 19時～
会場 キャンパス川口体育館
連絡先 関 俊也 ☎89-3105



秋がいつぱいのリース
田山保育園のみなさん 作

園庭でさつま芋掘りをして、そのついでリースを作りました。どんぐり・くり・まつぼっくり、アクセントにかわいいリボンを飾り、自然の恵みに包まれた園ならではの素朴で暖かなリースが、小さな手で出来上がりました。

俳句 大内 迪子先生選
大会当日句会 (10月29日)

米寿過ぎ夫婦元気に栗拾ふ 渡辺登子一
栗拾いは、むしろたべるより楽しい。米寿を過ぎやがて九十歳を迎えようとしている夫婦が揃って栗拾いが出来る至福を祝いたい。

只見湖にカヌー三艘秋高し 新宮 山紫
山奥の湖に、カヌーの練習をしている三艘のみ。深い色に澄み切った湖面を音もなくすべるように漕ぐ青年の健康さを、秋高しという季節で表現し得ている。

放牧の牛も山下り秋深し 村山むら女
春から秋にかけて山上の牧場に放ち、自由に駆け草を喰み、毛並も艶やかに肥えた牛たちも、越後のきびしい冬にそなえて山を下りなければならぬ。又長い冬ごもりが牛たちにも待っている。

信濃川金色に染め秋日落つ 吉沢まさ子
ゆったりと流れる広い信濃川に、今、秋の日が落ちるとして、川の面を金色に輝かせているという。大自然の神秘さを、そのまま素直に叙したが故に感動が伝わってくる。

秋時雨今日一日を句作せる 星野 七朗
病葉の色不思議を見て飽かず 星野紗都女
住む人ももぐりとも無く柿熟るる 山田 悦

方丈様天に召されし露しぐれ
裸電球昼を点せり下り築
さはやかに姉の米寿を祝ひけり
山田 久子

裸電球を点せり下り築
山田 チヨ

秋日和池底見えぬ水鏡
波白き秋の浅瀬に驚もいて
残る虫啼く夜の酒を酌み交す
小西シゲノ

病室の窓辺に秋の忍びよる
点滴の落つるを見つめ夜の長き
朝寒の起きぬけにして厨ごと
三輪 京子

この道の通る人絶え草紅葉
まなかひに垂れし粟の下通る
そぞろ寒三山一と日雲脱がず
喜多村キヨ

窓ごしの落葉時雨に人もなく
時茶屋早閉ちてある紅葉山
万灯の点るがごとき柿熟るる
関 よし

山田 久子
山田 チヨ
小西シゲノ
小宮山トキ
三輪 京子
喜多村キヨ
関 よし
星野 きの
藤田 節子
宮 ヨキ
宮 ミヨ
丸山 好枝
上村たつお
覚張よう子
覚張 次郎
鈴木 良仙

■公民館句会
12月3日(日) 生涯学習センター
■老人クラブ俳句教室
1月9日(火) 末広荘
※出句締切 午後1時

短歌

虫鳴きて夕べ静けき庭隅に真白き葎の花のさ揺らぎ
森山 みえ

もの忘れ一人ひそかに幾度か探しし果てに夫に問ひたり
佐藤 美智

純粹の「黒めだか」なり高価にて貴重なる故大切にせよと
桜井ミエ

(皆さんのページです。投稿をお待ちしています。)



元気です！
かわぐちこい ㉘
網 ひかるちゃん(武道窪・3歳)
おとうさん 勝則さん・おかあさん 真由美さん

3人娘の末っ子ひかるです。
小3・小1の姉達に毎日いじめられてたくましくなりました。
ドラえもん大好きで、今お絵描きに夢中です。

東川口地区館

「ごうたれ庄助」を熱演



11月3日、えちこかわぐち物語2000秋まつり「芸能発表会」において、東川口地区館の皆さんが田山に伝わる民話「ごうたれ庄助」の劇を演じました。



「ごうたれ庄助」とは、十日町から田山の大淵家へでつち奉公に来た主人公が、力持ちで仕事ができ、そのうえ大飯ぐらいのために仲間から意地悪をされ、最期はゴロ坂を転がりながら谷底に落ちてしまふ悲しい物語なのですが、ラブロマンスあり、コメディありの東川口地区館ならではの味付けで、観客を大いに沸かせました。

これまでも水戸黄門、八三郎婆などの時代劇を演じ、芸能発表会の中でも一際注目を集める存在になってきました。来年もまた川口の民話を織り交ぜた新しい劇を発表するということなので、大いに期待したいですね。

今月の味じまん ㉚ 小松菜のカニ卵あかけ



カルシウム・鉄分やカロチンなどのビタミン類も豊富に含まれる小松菜。卵に火が通ったらすぐ小松菜にかけ、あつあつを召しあがれ。

- 材料 (4人分)
- 小松菜.....300g
 - カニ缶詰.....小1缶
 - 鶏ささみ.....100g
 - A (酒.....小さじ1)
 - 塩.....少々
 - かたくり粉.....小さじ1/2
 - ごま油.....小さじ1/2
 - 長ねぎ.....1/4本
 - しょうが.....少々
 - 卵.....1個
 - B (酒.....大さじ2)
 - 塩.....小さじ1/2~1/3
 - こしょう.....少々
 - かたくり粉.....大さじ1/2

- 作り方
- 鶏ささみは小さめのそぎ切りにし、Aの下味をつける。カニ缶は身をほぐしておく。
 - 小松菜はよく洗い、熱湯でさっとゆでて水に取り、水気をしぼり、ざく切りにする。
 - 長ねぎとしょうがはみじん切り。
 - 中華なべに油大さじ1を熱し、小松菜を炒め、軽く塩・こしょうをふり、皿に盛る。
 - ④のなべに油少々をたして、長ねぎとしょうがを入れさっと炒め、水1カップを入れる。沸騰したら、ささみを1切れずつ加えてさっと煮、Bの調味料で味を調える。
 - ⑤に水溶きかたくり粉でとろみをつける。溶きほぐした卵にカニを混ぜて細く流し入れ、火が通ったら皿に盛った小松菜にかける。

提供：食生活改善推進委員協議会
中林 京子 (川口7) ☎89-3823
真島 靖子 (相川口) ☎89-2249